

事業番号	124
------	-----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	浄化センター等管理費				担当課	下水道課	
事業期間	開始年度	13年度	～	終了予定年度	—	担当係	管理係
総合計画	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利な町					
	目標	③快適な住環境をつくる（生活関連施設の整備）					
	成果指標	下水道処理区域内人口		中間目標 (H27)	27,960人	最終目標 (H32)	33,410人
		目標放流水質 (BOD)			5mg/ℓ		5mg/ℓ
予算区分	一般会計	1 款 事業費 1 項 業務費 2 目 浄化センター等管理費					
	細事業	901 浄化センター等管理費（浄化センターの運営及び施設維持管理に係る経費）					
位置づけ	関連計画	公共下水道事業計画					
	根拠法令	下水道法、水質汚濁防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他					
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	浄化センターの適正な維持管理を行い、浜名湖への放流水の監視に努め、公共水域の水質改善及び生活環境の改善に資する。						
内容(概要)	次のとおり汚水・汚泥を処理し、適正な維持管理を行った。 年間汚水処理水量 H22年度 1,554,474m ³ (湖西:811,251m ³ 、新居:743,223m ³) H23年度 1,637,500m ³ (湖西:882,835m ³ 、新居:754,665m ³) 年間汚泥処分量 H22年度 1,262.30t (湖西:664.43t、新居:597.87t) H23年度 1,347.97t (湖西:739.16t、新居:608.81t)						
これまでの改善・見直しの状況	・浜名湖の水をきれいにする保全対策に取り組んでおり、下水道法に定められた計画放流水質の基準 (BOD 15mg/ℓ) より厳しい放流水質基準(5mg/ℓ)を設け、高度処理を行ったうえで放流している。						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費	
事業費	予算	238,792	243,546	270,835	(内訳)	
	決算	214,934	233,336		物件費(旅費、委託料など)	182,440
財源内訳	国庫支出金				維持補修費	50,472
	県支出金				補助費等	424
	地方債					233,336
	その他	202,508	233,336	270,835		
	一般財源	12,426	0	0		
職員人件費		14,682	14,499	13,286	人工	1.8 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

内容		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
活動指標	放流水質 BOD(湖西/新居)	目標	5/5	5/5	5/5	100%	
		実績	3.05/0.60	1.10/0.51			
	放流水質 COD(湖西/新居)	目標	10/10	10/10	10/10	100%	
		実績	6.48/6.86	5.84/7.28			
	放流水質 SS(湖西/新居)	目標	6/6	6/6	6/6	100%	
		実績	1.80/0.25	0.12/0.21			
	放流水質 T-N(湖西/新居)	目標	10/7	10/7	10/7	100%	
		実績	5.65/2.09	5.55/2.55			
	放流水質 T-P(湖西/新居)	目標	1/1	1/1	1/1	100%	
		実績	0.06/0.08	0.06/0.09			
	平成23度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 浄化センター運転管理業務 流入汚水の量や水質に応じて、各機器の調整を行い適正な運転管理を実施した。 汚泥収集運搬業務 汚泥の発生状況に応じて計画的に運搬をした。 汚泥処分業務 汚泥を堆肥として再生し、有効に活用した。 水質検査業務 放流水等の水質検査を行い、法規制値・目標値以下であり適正な維持管理がされていることを確認した。 					
	課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始から10年が経過し、設備機器等の故障が増えている。 流入水量が増加し、細かな設備機器等の運転調整が必要となっている。 					
どう対処したか	<ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で緊急性のあるものを優先して修理し、残りは応急修理で対処している。(計画的な補修・更新を行う。) 流入水量、汚泥発生量等を把握して、適正な維持管理を行った。 						
改善点					効果額 H24-H23 (千円)		
自己評価	事業目的の達成状況	浄化センターの適正な維持管理を行い、放流水の法規制値・目標値をクリアした。					
	※必要性事業を廃止・休止したときの影響	適正な維持管理が確保されなくなり、浜名湖の水質を悪化させる。					
	判定	A 継続	現行の内容で実施	事業主体	市		
	判定理由	今後も引き続き公共水域の水質保全と生活環境の改善のため、下水道の整備を進めて下水道普及率を高めていくことから、浄化センターの適正な維持管理を継続する。					
	今後の方向性	湖西・新居浄化センターとも供用開始から11年を経過し、機器の更新等が必要となることから、点検修理を計画的に行い、機器の長寿命化を図るように努める。					